

平成26年度

運営に関する計画

【学校評価】(自己評価書)

大阪市立今津中学校

1. 学校経営

(1) 学校経営の中期目標

現状と課題

【学力の向上】

「全国学力・学習状況調査」の結果は、年度により出来不出来はあるが、過去数年間を見ると、おおよそ大阪市平均と同じ程度である。学力で最も気になるところが、言語能力の低さである。読書に関する項目は全て、全国平均よりかなり低い。読書量・読書時間・図書室の利用状況など、驚くほど少ない。逆に、テレビやゲーム、スマホなどのネット関連に費やしている時間が1日4時間以上という生徒が増加している。当然、生徒質問紙の言語活動に関する興味・関心の項目も低い結果がでている。生徒に確かな学力を定着させるには、全ての学力の基礎となる言語能力の育成が大きな課題であると考えます。

また各教科の授業に目を向けると、それぞれの教科担当は基礎学力の定着に向けいろいろ工夫をしているが、まだ授業改善は十分とは言えず結果につながっていない。そして本校の授業の多くは教え込む授業が中心となっており、生徒同士の話し合いや生徒が自分の考えを発表する授業は少ない。習熟度別授業の充実や生徒の主体的活動を取り入れた授業など、生徒にとって分かりやすく楽しい授業を目指し、研究授業を伴う校内研修に力を入れている。

【道徳心・社会性の育成】

生活指導では、毎年一部の生徒が集団規律を守らず学校の指導にも従わず、大きな問題になっている。教員は一部生徒の生活指導に多大の時間と労力を費やし、疲弊している。このことが学力のインフラである学習環境や学習規律にも悪い影響を与えている。しかし、全体の生活指導だけでなく学級単位の地道な指導で規律ある集団の育成に努めることで、全体としては落ち着いて授業に取り組んでいる。そして、道徳の授業や人権教育の取り組み、学級集団作りを通じて、生徒の人権感覚や自己有用感の育成にあたっている。

また、教員の年齢構成が若返るとともに年々部活動は盛んになり、生徒の健全育成・学校の活性化に大きく貢献している。生徒会を始めとする委員会活動も活発であり、生徒の主体的活動は順調に進んでいる。

【健康・体力の保持増進】

全国体力・運動能力調査の結果は、過去数年間を見るとおおよそ大阪市平均と同程度で全国平均より低い。運動部の活動は盛んであり一部の生徒の体力・運動能力の向上にはつながっているものの、全体のものとはなっていない。体育の授業や学校行事、部活動等で意識的、計画的に生徒の体力・運動能力の向上を図る必要がある。

また、保健室を中心に取り組んでいる各種の保健指導やほけんだより委員会活動を通じて、健康な生活習慣の資質・能力は育成され、健康な生活習慣に関するアンケートの結果は良好である。2年続きで、インフルエンザによる学級閉鎖はゼロである。しかし各種検診後の治療率については低く(特に歯科の治療率は30%台)、家庭と連携し改善に取り組んでいく必要がある。

【学校・家庭・地域連携の推進】

幼少中高との連携は良好で活発であり、地域の関係諸団体も学校に協力的である。保護者は学校教育に理解を示しつつも我が子中心で、地域全体の子どもの育成という視野を持ってられる方は少ない。学校としてはより積極的に情報を発信することで、学校教育への理解と地域の子どもの健全育成の取組の協力を得る必要を感じている。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 平成27年度の全国学力・学習状況調査における国語A・数学Aの平均正答率を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 言語力育成と基礎学力向上を目指し、読書活動と漢字検定の取り組みを推進する。PTA・地域・学校元気アップボランティア・校区小学校と連携した取り組みを行い、中学校区全体で言語力の育成を図る。読書は全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において「読書は好き」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。漢検は5級以上合格者を全校生徒の50%以上を目指す。
(カリキュラム改革関連)
- 平成27年度学校評価アンケート(生徒)において「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答える生徒の割合を60%以上にする。(平成24年度は47%)
(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 自尊感情を高める取り組みを進め、平成27年度の全国学力・学習状況調査において「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 規律ある集団の育成を目指し、平成27年度の全国学力・学習状況調査において「学校のきまり・規律を守っている」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成27年度学校評価アンケート(生徒)において「部活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる」と答える生徒の割合を80%以上にする。(平成24年度は65%)
(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成27年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を前年度以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、生活習慣に関する項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と回答する生徒の割合を全学年で前年度以上にする。
(カリキュラム改革関連)
 - ・毎日歯磨きをしていますか
 - ・家に帰ったら、手洗い・うがいをしていますか。
 - ・朝ごはんを食べていますか。
- 歯科検診の治療率を平成27年度には60%にする。(平成25年度34.8%)
[平成26年度 追加項目]
(カリキュラム改革関連)

【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】

- 平成27年度学校評価アンケート(保護者)における「学校は、教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている」と答える保護者の割合を80%以上にする。(平成24年度は65%)
(ガバナンス改革関連)

(2) 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 平成26年度の全国学力・学習状況調査における国語A・数学Aの平均正答率を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 言語力育成と基礎学力向上を目指し、読書活動と漢字検定の取り組みを推進する。PTA・地域・学校元気アップボランティア・校区小学校と連携した取り組みを行い、中学校区全体で言語力の育成を図る。読書は全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において「読書は好き」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。漢検は5級以上合格者を全校生徒の45%以上を目指す。
(カリキュラム改革関連)
- 平成26年度学校評価アンケート(生徒)において「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答える生徒の割合を55%以上にする。(平成25年度は50%)
(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 自尊感情を高める取り組みを進め、平成26年度の全国学力・学習状況調査において「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 主 ○ 規律ある集団の育成を目指し、平成26年度の全国学力・学習状況調査において「学校のきまり・規律を守っている」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成26年度学校評価アンケート(生徒)において「部活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる」と答える生徒の割合を75%以上にする。(平成25年度は70%) (カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成26年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を前年度以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、生活習慣に関する項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と回答する生徒の割合を全学年で前年度以上にする。 (カリキュラム改革関連)
 - ・毎日歯磨きをしていますか
 - ・家に帰ったら、手洗い・うがいをしていますか。
 - ・朝ごはんを食べていますか。
- 歯科検診の治療率を平成26年度には50%にする。(平成25年度34.8%)
(カリキュラム改革関連)

【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】

- 平成26年度学校評価アンケート(保護者)における「学校は、教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている」と答える保護者の割合を70%以上にする。(平成25年度は69%)
(ガバナンス改革関連)

(3) 本年度の自己評価結果の総括

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 平成26年度の全国学力・学習状況調査における国語A・数学Aの平均正答率を全国平均以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 言語力育成と基礎学力向上を目指し、読書活動と漢字検定の取り組みを推進する。PTA・地域・学校元気アップボランティア・校区小学校と連携した取り組みを行い、中学校区全体で言語力の育成を図る。読書は全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において「読書は好き」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。漢検は5級以上合格者を全校生徒の45%以上を目指す。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 平成26年度学校評価アンケート(生徒)において「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答える生徒の割合を55%以上にする。(平成25年度は50%) (マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【各教科】(カリキュラム改革)</p> <p>教科等の学習に関する指導の重点の取り組みを推進する。</p> <hr/> <p>指標 各教科での具体的方策の実施度合</p>	
<p>取組内容②【言語力や論理的思考力の育成】(教務・学校元気アップ) (カリキュラム改革)</p> <p>「図書館便り」を活用して、本の紹介などに努める。 (マネジメント改革)</p> <p>学校元気アップボランティアによる図書館の開館を行う。</p> <hr/> <p>指標 図書館便りの発行回数・ボランティアによる図書館開館回数</p>	
<p>取組内容③【言語力や論理的思考力の育成】(読書活動) (カリキュラム改革)</p> <p>各学年での読書活動の取り組みの推進する。 (マネジメント改革)</p> <hr/> <p>指標 各学年での個人の平均読書冊数</p>	
<p>取組内容④【言語力や論理的思考力の育成】(読み語り活動) (マネジメント改革)</p> <p>文芸部の生徒を中心に、小学校低学年の児童と幼稚園・保育所の園児に絵本の読み語りを実施する。</p> <hr/> <p>指標 読み語りの実施回数と参加生徒数</p>	
<p>取組内容⑤【言語力や論理的思考力の育成】(漢検) (マネジメント改革)</p> <p>全校生徒に年2回漢字検定を受験させ、基礎から応用までの漢字能力を段階的に身に付けさせる。</p> <hr/> <p>指標 5級以上の合格者の全体に対する割合</p>	

<p>取組内容⑥【言語力や論理的思考力の育成】(小学校漢検)(マネジメント改革)</p> <p>校区小学生の漢字検定受験希望者を募り、学校とPTA共催で実施する。 また今年は親子での参加受験も呼び掛けていく。</p>	
<p>【学校評価】(自己評価書)</p> <p>指標 参加する小学生の数と全体の合格率</p>	
<p>取組内容⑦【言語力や論理的思考力の育成】(漢検勉強会:学校元気アップ)</p> <p>国語の授業で漢検に向けた漢字の練習を計画的に実施する。学年でも総合の時間を使い漢検に向けた漢字の練習を行う。また、学校元気アップボランティアにより放課後、希望者対象の漢検の学習会を図書室にて実施する。</p> <p>(カリキュラム改革)(マネジメント改革)</p>	
<p>指標 放課後の勉強会の実施回数と参加生徒数</p>	
<p>取組内容⑧【授業研究を伴う校内研修の充実】(マネジメント改革)</p> <p>全教員が授業研究を実施し、その後ワークショップ型討議会を行うことで教科指導力の向上を図る。</p>	
<p>指標 年間行事に授業研究週間を位置づけて、計画的に実施していく。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 健康・体力の保持増進】 ① 平成26年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を前年度以上にする。 <div style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</div> ② 本校アンケート調査で、生活習慣に関する項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と回答する生徒の割合を全学年で前年度以上にする。 <div style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</div> ・毎日歯磨きをしていますか。 ・家に帰ったら、手洗い・うがいをしていますか。 ・朝ごはんを食べていますか。 ③ 歯科検診の治療率を平成26年度には50%にする。(平成25年度34.8%) <div style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</div>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体育科の授業の充実】 毎授業での補強運動を行い、基礎体力の向上に努める。 また、陸上競技の授業時数を増やす。 <div style="text-align: right;">(カリキュラム改革)</div> <hr/> 指標 体育授業の実技記録による確認	
取組内容②【健康な生活習慣の確立】 歯科校医による健康教育を実施する。また健康の管理の指導の重点の取組内容①を実施する。長期休業前に健康指導を行う。 <hr/> 指標 アンケート調査の実施	
取組内容③【健康な生活習慣の確立】 歯科校医による健康教育を実施する。1学期懇談前に本人・保護者に周知する。 <hr/> 指標 歯科の治療率	

1

--

2. 学習に関する指導の重点

目標： 生徒の学習意欲を高め、基礎学力の充実をはかる。

取組内容		達成状況	
【個に応じた学習指導】 a 生徒の実態に応じた指導方法を工夫し、基礎基本の定着と向上をはかる。			
【自主学習習慣の定着】 b 授業についての興味関心を高め、自主的に学習に取り組む態度の育成に努める。			
【学習規律の確立】 c 生徒の学習規律への意識を高め、学習に集中する態度を育成する。			
結果と分析			
a			
b			
c			
次年度への改善点			

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

2. 学習に関する指導の重点

【学校 目標】 生徒の学習意欲を高め、基礎学力の充実をはかる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

具体的方策(指標)	達成状況	
① 【国語科】 a 個の実力に合った漢検の合格を目指し、級別のプリントを活用し、取り組ませる。 b 読書を通じて、文章に関心を持たせる c チャイムと同時に漢字の学習に取り組ませる。		
② 【社会科】 a 自作プリントを活用し、基礎用語の定着をはかる。 b 社会的事象に興味・関心を持たせるために調べ学習を取り入れる。 c 毎時間、チャイム着席して学習が始められるよう、指導する。		
③ 【数学科】 a 基礎学力の定着をはかるために小テストなどを定期的実施する。 b ノートの工夫や提出物の完成度を高める。 c チャイム着席など、時間を守る指導に努める。		
④ 【理科】 a 単元ごとに、小テストを実施する。 b ノート、提出物の精度を高める。 c チャイムと同時に起立・礼ができるように努める。		
⑤ 【音楽科】 a 興味・関心を促す教材の精選、実技対策の一貫として個別指導の強化に努める。 b 知識を高めるプリント・キャンパスの指導、文化活動発表会の取り組みを高める。 c 遅刻・忘れ物の対策として係の指導を強化する。		
⑥ 【美術科】 a 生徒のつまずきを発見するため、個人指導に努める。 b 基本的な学習態度を習慣付けるため、5分前集合を呼びかける。 c 授業のはじめに「5分間スケッチ」に取り組ませ、集中力を高める。		
⑦ 【保健体育科】 a 基礎体力の向上に努める。 b 集団行動やグループワークを通して、生徒ひとりひとりが責任感を持てるように努める。 c 授業内容を工夫し、生徒の興味・関心を育て、積極的に授業参加する姿勢を育成する。		
⑧ 【技術家庭科】 a 生徒の能力・進度差に応じた作品作り、個別指導を行う。 b 実習・作業に適したプリントや資料の作成および提示方法を工夫・支援する。 c 実習での班活動等を通して、個々の役割や協力する態度を育てる。		
⑨ 【英語科】 a 単語テスト・単語練習を単元ごとに行う。 b C-NETとの授業において、積極的に取り組める環境をつくるよう工夫する。 c 忘れ物や宿題のチェックを行い、学習への意識を高める。		

3. 生活指導の重点

目標： 基本的な生活習慣の定着をはかり、規律ある集団の育成に努める。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況
① 【基本的な生活習慣の確立】 ・時間やルールを守る等の意識を高めさせるため、朝の登校指導、下校指導、授業の入室指導等に、全教職員で取り組む。		
② 【規範意識の育成】 ・集会時や、授業の開始時に服装を正す指導を徹底していく。		
③ 【生活指導上の課題への対応】 ・サポート会議、学年の打ち合わせを密にし、共通理解をはかり、問題行動の未然防止につとめる。		
④ 【安全教育】 ・集会等で、交通ルールを守る等の話をし、意識を高める。 ・薬物乱用防止教室、防犯教室等を地域や関係諸機関の協力を得て指導していく。		
⑤ 【 】		
結果と分析		
① ② ③ ④ ⑤		
次年度への改善点		

4. 健康の管理と指導の重点

目標： 心身ともに健康な生徒を育成する。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況
①【健康的な生活習慣】 保健指導やほけんだより、委員会活動等を通して、健康に対する関心を高め、健康的な生活習慣に対応できる資質や能力を養う。		
②【環境整備】 委員会活動等を通じて、学校内外の清掃美化に努めるとともに、自らで維持・改善できる能力を育てる。		
③【食育】 みんなで食事をする楽しさを大切にし、食べ物の栄養や食文化、バランスのとれた食事や生活習慣など、生涯にわたる自己の健康管理につながるよう指導する。		
④【家庭・地域との連携】 校内避難訓練や地域の防災訓練などを通して、地域の災害時に活動できる人材育成に努める。		
⑤【家庭・地域との連携】 学校保健委員会等を通して、生徒の健康課題について地域や家庭との連携を行う。		
結果と分析		
①		
②		
③		
④		
⑤		
次年度への改善点		

5. 教員の研修

目標： 個人や組織の資質向上を目指し、積極的な研修活動を推し進める。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況
① 【研修計画】 月に1回程度の全体研修会を計画し、全教員が参加できる体制を組む。(別紙)		
② 【授業研究】 テーマに沿った研究授業とそれと伴う校内研修を全員が行い、指導力の向上に取り組む。		
③ 【各種研修】 今日的な課題や、生徒、学校の実態に即した課題等、タイムリーな校内研修を実施する。		
④ 【伝達講習】 校外の各種研修の内容を職員会議等で伝達し、相互交流することで、指導力の向上に取り組む。		
⑤ 【 】		
結果と分析		
①		
②		
③		
④		
⑤		
次年度への改善点		

6. 人権教育

目標： 学校の全教育活動を通じて、豊かな人権感覚を養い、生徒一人一人が、互いに認め合い、尊重しあえる集団を育成する。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況
① 【指導計画】 3年間を見通した指導計画を作成し、計画的に実践する。		
② 【推進体制】 人権教育委員会を定期的に関き、各学年の取組みの情報・資料の交換を行う。		
③ 【ピアサポート活動】 互いの違いを認め合い、尊重しあえる集団の育成のためピアサポート活動をし推進する。		
④ 【 】		
⑤ 【 】		
結果と分析		
①		
②		
③		
④		
⑤		
次年度への改善点		

7 特別支援教育

目標： 障がいのある生徒や配慮の必要な生徒に対する適切な支援を行っていく。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況
① 【指導計画】 個別の指導計画・支援計画を作成し、それに基づいた支援を実施する。		
② 【指導体制】 特別支援教育委員会を定期的に関き、生徒の情報交換を行うことで支援の充実に努める。		
③ 【研修】 研修会を実施し、特別支援教育の理解を深めるとともに指導力の向上をはかる。		
④ 【 】		
⑤ 【 】		
結果と分析		
① ② ③ ④ ⑤		
次年度への改善点		

8. 学年経営(1年)の重点

目標： 互いの人権を尊重する集団の育成を図るとともに、基本的生活習慣の確立と基礎学力の充実・定着に努める。(学校努力目標実現の取組の推進と読書活動の推進)

e.

○ 学校努力目標

自分を大切に友だちを大切に

・・・ a.

時間を大切にしよう

・・・ b.

あいさつをしよう

・・・ c.

学校をきれいにしよう

・・・ d.

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況	
a. 班活動を中心に協力し合う集団を育てる。 b. 登校指導やチャイム着席など時間を守る指導に努める。 c. 元気なあいさつや正しい言葉づかいができるよう指導する。 d. 日々の清掃活動の指導の徹底に努める。 e. 朝の読書を通して、読書する習慣の育成に努める。			
結果と分析			
a.			
b.			
c.			
d.			
e.			
次年度への改善点			

8. 学年経営(2年)の重点

目標： 互いの人権を尊重する集団の育成を図るとともに、基本的生活習慣の確立と基礎学力の充実・定着に努める。(学校努力目標実現の取組の推進と読書活動の推進)

e.

○ 学校努力目標

自分を大切に友だちを大切に

・・・ a.

時間を大切にしよう

・・・ b.

あいさつをしよう

・・・ c.

学校をきれいにしよう

・・・ d.

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況	
a. 班活動を中心に協力し合う集団を育てる。 b. 登校指導やチャイム着席など時間を守る指導に努める。 c. 元気なあいさつや正しい言葉づかいができるよう指導する。 d. 日々の清掃活動の指導の徹底に努める。 e. 朝の読書, 読書の木の作成, 読みたい本リストの作成に努める。			
結果と分析			
a.			
b.			
c.			
d.			
e.			
次年度への改善点			

8. 学年経営(3年)の重点

目標： 互いの人権を尊重する集団の育成を図るとともに、基本的生活習慣の確立と基礎学力の充実・定着に努める。(学校努力目標実現の取組の推進と読書活動の推進)

e.

○ 学校努力目標

自分を大切に友だちを大切に

・・・ a.

時間を大切にしよう

・・・ b.

あいさつをしよう

・・・ c.

学校をきれいにしよう

・・・ d.

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容		達成状況	
a. 班活動を中心に協力し合う集団を育てる。 b. 登校指導やチャイム着席など時間を守る指導に努める。 c. 元気なあいさつや正しい言葉づかいができるよう指導する。 d. 日々の清掃活動の指導の徹底に努める。 e. 学年の現状を考え、朝学習に取り組んでいる。 朝学習の終わったものから朝読に取り組んでいる。			
結果と分析			
a.			
b.			
c.			
d.			
e.			
次年度への改善点			